令和2年度　第1回・第2回至学館大学陸上競技会(女子投擲)

新型コロナウイルス感染予防対策

今大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルス感染 拡大防止のガイドラインを参考に以下の感染防止策を設けました。

【基本注意事項】

 1．無観客試合

・競技者、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）のみ入場可能とする。トレーナー活動は実施しない。

・受付で検温を実施したうえで入場可能とする。 検温後、リストバンドを配布する。

2．応援について

・声を発する応援は個人・集団問わず禁止する。

・マスクを着けて応援すること。

3．「3 密」の回避

・対人距離（ソーシャルディスタンス）を２ｍ以上確保すること。撮影などをする場合も 同様の対応をとること。

・マスクの着用を徹底すること。（ただし、競技中の選手は除く）

・競技場内の諸室は換気設備を運転し、窓・ドアを開放する。

4．各自による感染症対策

・感染経路となりうる共有する物品やドアノブなど高頻度接触部位については、主催者側 で消毒するが、参加者各自が注意し、接触後の手洗いを徹底すること。

・競技者、審判員、その他全て入場者は、こまめに手洗い・消毒を行うこと。

 ・競技終了後は手洗い・消毒を行うこと。

・ハンカチやマイタオルを持参すること。

【大会参加について】

 1. クラスター感染が発生した場合に備え、参加者および来場者は「【2 週間前】体調管理チェックシート」を提出すること。

2.来場者は全員、リストバンドを付けて行動すること。リストバンドが付いていない者の入場は一切認めない。

3．下記に該当する場合は大会参加および会場への入場を認めない。

①本大会で定めた「【2 週間前】体調管理チェックシート」の提出がない。

②大会当日の朝の検温で 37.5℃を超え、強い倦怠感と息苦しさがある場合。

③リストバンドが付いていない者。

④発熱がなくても風邪の症状や体調不良がある者。

⑤同居家族や知人に感染が疑われる人がいる場合。

【競技場への入場について】

1．競技者・チーム関係者の来場時間は11:00とする。これより前に来場しないこと。

2．競技者、チーム関係者の入場口は裏門(東門)に限定する。

3. 入場の際は、リストバンドの確認と検温を実施する。

【招集所について】

・招集所では、並ぶ位置に一定距離を空けたマーカーを配置するので、マーカーに従って 並ぶこと。

【競技について】

1. 待機場所はソーシャルディスタンスを確保できる広さを確保すること。その際、 審判員の指示に従うこと。

2. 必要以上に荷物を持ち寄らないこと。

3. 荷物は持参した袋やカバンに入れること。

4.競技開始時刻より早く来すぎることがないようにすること。

5. 競技終了後は必ず手洗い・うがいをすること。

【記録について】

1．リザルトは 競技会Twitter およびHPにてお知らせする。

2．競技終了した競技者には、速やかに競技場から退出すること。

3．記録に関しての抗議はTwitterでの発表を正式発表とし、そこから 30 分以内に行うも のとする。

【更衣室に関して】

 1．屋外に設置した更衣用テントを使用する。一度に多人数が使用しないように、張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導する。

 2．選手用リストバンドを付けている者のみ利用可とする。

 【各チームの待機場所・集合について】

 1．競技場正面玄関側の外周にテントを設置しても良いが、テント内で 3 密（密集・密接・ 密閉）にならないようにすること。

 2．ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止する。

【その他】

1．競技終了後、全ての箇所（机、いす、パソコンなど）を清掃、消毒する。

2．競技終了後、全ての競技用機材を消毒する。

 3．参加者は大会後、症状が 2 日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（至学館大学陸上競技部）に報告すること。

4．競技場内全てのごみ箱は閉鎖する。ゴミは各自ビニール袋に入れて持ち帰ること。

5．集団練習はせず、２ｍ以上のソーシャルディスタンスを空けて練習すること。

6．怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医療担当スタッフが対応するが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には別途その場にいる医療担当スタッフと相談して対応を行う。

 7. 「【大会後】体調管理チェックシート」を各自記入し、自己保管すること。

 8. 来場者全員が厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをするこ と。